

「呉福万博2011」とは

-趣旨-

かつて九州有数の中心市街地であった佐賀県佐賀市は、郊外の大型商業施設の台頭により人通りが少なくなり、空洞化や老朽化が進むなか、魅力ある地域づくりが最重要課題となっています。郊外の大型商業施設にはない魅力づくり、その中で多様性を含めた柔軟な発想が求められています。このような地域でかつて行われてきた「呉楽横丁」「アートコンプレックス」「呉福万博」「呉福万博2010」等のアートプロジェクトの文脈を踏まえ、2011年夏、学生主体によるアートプロジェクト「呉福万博2011」を開催いたします。

-目的-

1.文化芸術の振興

- 地元で活躍する、又は次世代を担うアーティストを多数招聘
- さまざまな分野の優れた作品展示、また地元根付いた作品展示により地元の文化芸術の振興を図る

2.人材育成

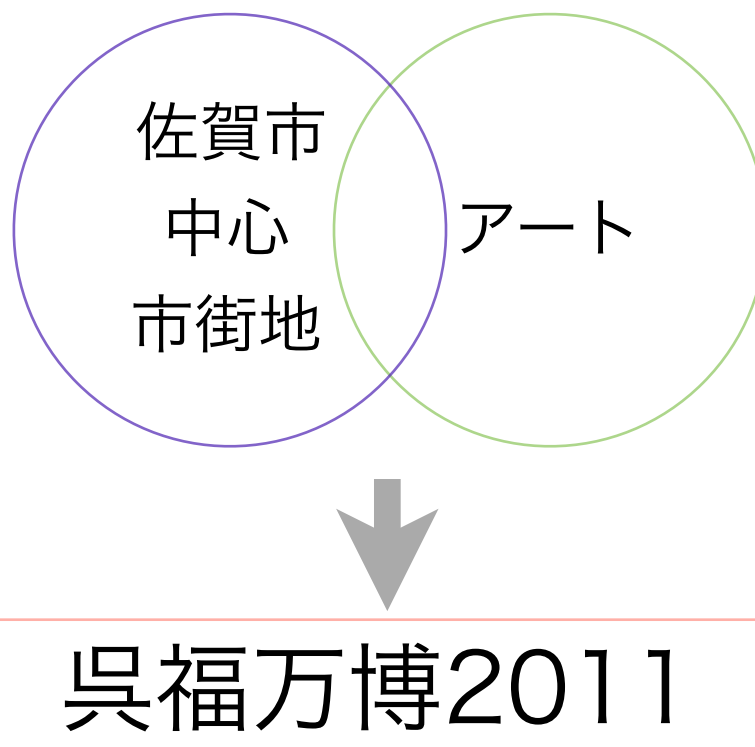
- 本企画の運営を担う、または作家として参加する学生が、有望な社会戦力として育つ
- 他の教育機関（附属小学校、佐賀大学都市工学部等）との連携により、青少年の健全育成を図る

3.地域コミュニティ・人的ネットワークの形成

- 地元の人々、アーティスト、行政、学生等が関わりながら活動を行っていく事のできる関係性の拡大、深化を図る

4.歴史的建造物の魅力の可視化

- 本企画の展示を通して、現在も残る地元の歴史的建造物の魅力の可視化を目指す



「呉福万博2011」 概要とコンセプト



-概要-

元々美術の関係ない要素で形成された商業的な側面を持った街で、多様なアートが展開します。ガイドマップを片手に佐賀の中心市街地を歩いて行く事で、佐賀という街が見せる様々な表情と出会う事になります。また、主に地元で活躍するアーティストがその街に入り込み、その場所でしか成立しない作品展示を行うことで、会場と作家の化学反応がおき、多彩な表現が行われる事になります。今回は展覧会「アートディスカバリー」を軸として、街歩き要素を含めた「アートウォーク」、音楽祭「(イベント名)」などが開催されます。それらの要素を全て含んだアートイベント、「呉福万博2011」が今年も佐賀を舞台に大暴れします！

-「呉福万博」というコンセプト-

学生、地元商店街の人々、アーティストなど、世代もジャンルも超えた人々が集まり、様々なジャンルの表現が行われる、そこから、万国博覧会のようなごちゃ混ぜ感をニュアンスにとり入れ、また、主なイベント会場となる656広場がある呉服町商店街を中心におくため「呉福万博」と名付けられました。